

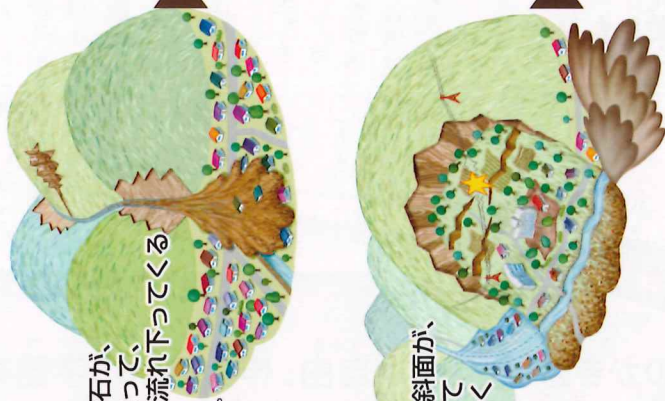
土砂災害ってなに？

大雨など引き金となり、大量の土砂が押し流れたり、水と一緒に流れたりすることによって起こる災害のことです。地震の揺れが直接の原因となり起こる土砂災害もあります。また、大きな地震のあとには、地盤が崩れやすくなるため、少しの雨や台風でも土砂災害が起きやすくなります。



がけ崩れ(斜面崩壊) 急な斜面が崩れる

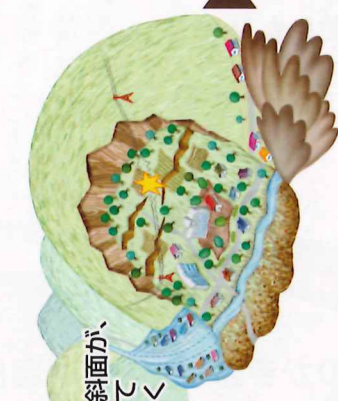
- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大量の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の降が一服のうちに起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。
- 雨が上がった後、雨が上がったところまで土砂がおそってくることもある。



土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる。

- 大雨が降ると引き金になる。梅雨や台風の時期は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまう。
- 雪どけ水で発生することもある。



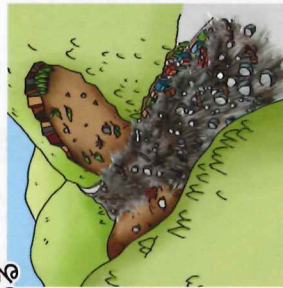
地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く。

- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 家や畑といっしょに大地がゆっくり動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。

河道閉塞(天然ダム)

崩れた土砂が川をせきとめる



- すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 天然ダムの上流側は湖のように水がたまり、家や畑が水につかる。
- 天然ダムはやがて、たまった水で一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せる。

がけ崩れの前ぶれ



- ① がけから小石がバラバラ落ちてくる。
- ② 樹木がゆれたり、かたむいたりする。
- ③ 斜面にひび割れができる。



立退き避難が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。

こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ(前兆現象)

身のまわりでこんな現象が起こったら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

土石流の前ぶれ



- ① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。
→ 上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。
- ② 川や沢の流れがにごり、生木の木が流れてくる。
→ 上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③ 山鳴りがする。異常なおいがする、地鳴りがする。
→ 上流で山が崩れているため。
- ④ 雨がふり響いているのに川や沢の水が減る。
→ 上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。



土石流から逃げる時は、川から離れたなるべく高い所に向かう。

地すべりの前ぶれ



- ① 池の水がにごったり、濁ったりする。
- ② 山の樹木がざわざわとさわく。木の裂ける音や木の根が切れる音がする。
- ③ 地鳴りや山鳴りがする。
- ④ わざ水がたえる。
- ⑤ 地面にひび割れや陥凹ができる

ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う、変だ」と感じたら、役場や近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。

土砂災害警戒区域の看板

近所にこういう看板はないですか？

がけ崩れ、土石流、地すべりの危険が大きい場所を示しています。これらの場所は特に注意しましょう。

